

**共同募金完納**  
ご協力に感謝  
皆さんのご協力により、今年  
の共同募金は完納しました。  
割り当て目標額は、千二万二  
千七百円でしたが、完納額は  
二万一千三百円です。ありが  
とございました。

発行所 青森県金木町役場  
編集 企画室  
印刷所 東奥日報社事業局

# 金木だより

## 十二月の天気予報

△気温  
上旬はやや低目、その後は一  
般に高目の日が多いとみこ  
下旬には一時かなり低くなる  
時期がある。月平均では平年  
よりやや高くなりそう。  
△雨量  
上旬と下旬は多量の天気。  
津軽地方は風雪がみ。  
月の総降雪量は太平洋側はす  
くないが、当地方はたいへ  
平年なみの見込み。

町当局では、県立芦野公園を中心に観光施設の長期整備計画の構想を練っていたが、このほどそ  
の基本計画ができ、金木町公園管理運営委員会に諮問したところ、同委員会では原案どおり承認  
はするが、実施にあたってはさらに検討する必要があると答申した。

## 観光開発の長期計画 昭和37-46年度

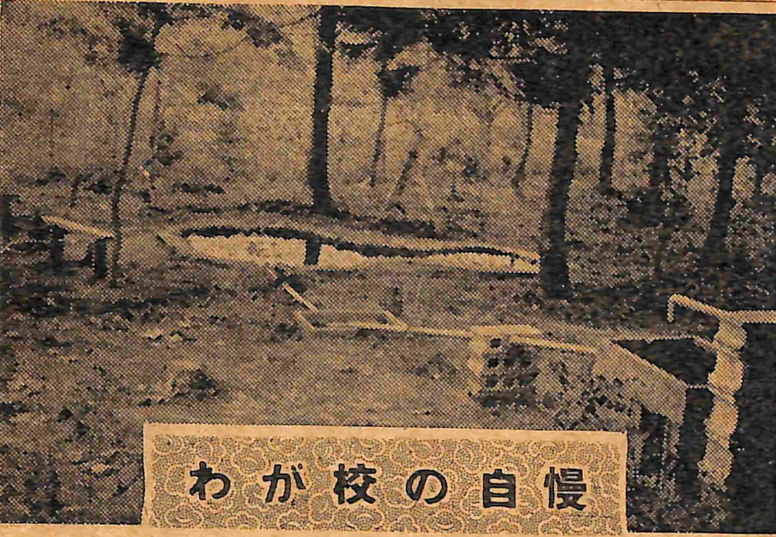
### 芦野公園中心に整備

#### 小田川ダム 完成を基本に策定 青森道路

この計画は十年後には小田川ダム、青野公園内を、県道と津軽鉄道  
が完成し、金木-青森間の産業道  
路も開通していることを想定して  
たためのもので、基本構想は次のと  
おりである。

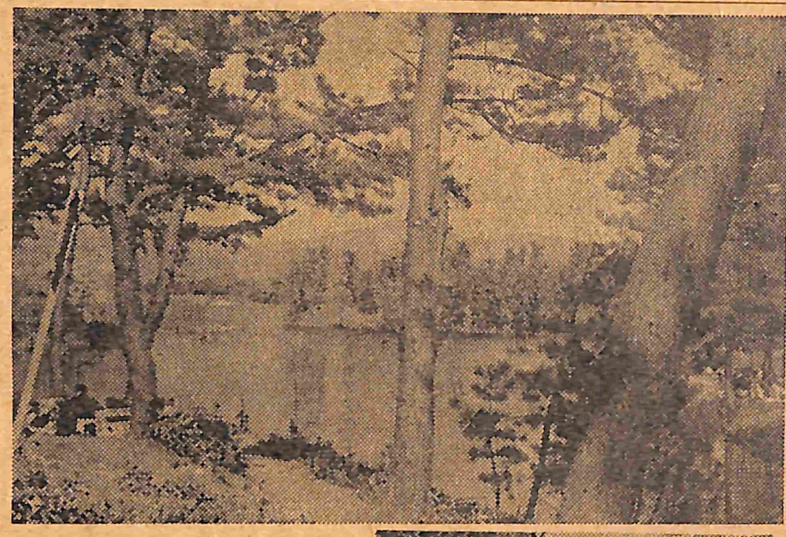
①小田川ダムが完成した場合には  
灌漑(かんがい)用池としての藤  
枝溜池の水量を、四季を通じて最  
大限に利用できるよ様に確保し、  
この地域唯一の児童公園とする。  
②金木間の直通道路と小田  
川ダム完成とともに、碓氷山脈  
の観光ルートをつくる。  
③公園周辺および喜良市山湯  
地域に温泉地を建設する。

民間営で国民宿舎  
独自のハイキングコースも  
年次計画は次のとおり。  
▽昭和三十一年度  
①梅園：青野公園内の児童動物園  
周辺に約二百本の梅を植える。  
予算十万円、一年計画で実施す  
る。  
②予算十四万円でコンクリート製  
のベンチ十ヶ所と、くすかご二  
十を設置する。  
▽昭和三十三年度  
①国民宿舎：青野公園内に収容人  
員百人ほどのものを、国民年  
金の還元金額費四千六百万円  
で新築する。  
▽昭和三十九年度  
①山小屋：七ツ溜、藤の溜に千  
万円で山小屋をたてる。  
②青野公園管理費：予算五十万円  
木造七ツ溜仕上げで六十六平  
方尺、売店、休憩所をかねたも  
の。  
▽昭和四十年年度  
①国民宿舎：青野公園内に収容人  
員百人ほどのものを、国民年  
金の還元金額費四千六百万円  
で新築する。  
▽昭和四十二年より四十六年度  
までの間に次のものを実施する  
①青野公園登山道から田茂野に  
コンクリート橋をかける。  
②喜良市山湯の沢か、藤の溜付近  
に国民宿舎をたてる。



## わが校の自慢

① 学習用の池をつくる  
川倉小学校の愛生園  
本紙で紹介したことのある川倉小学校の「愛生園」に、同校の先  
生、PTAの幹部さんが、今年の夏休みの終わりに、下級学年用の  
理科実験用として観察池を掘り、ふん水や水車をつくらせたが、  
生徒さんたちの人気を集めている。  
この愛生園は昭和三十三年、同校舎の新築落成記念としてつくった  
もので、園内には天然生ものほかに、植栽による約三十種類の樹  
木があり、またあずま家、ベンチ等もあり、学校の小公園として自  
慢していたのだが、こんど、さらにいっばな池がつくられたので  
自慢のタネが一つふえた校長以下大喜びだ。同園の広さは六  
六〇平方尺。  
ここからは芦野湖越しに津軽富士が眺められるほか、イタコで有名  
な川倉地蔵尊まで約一キロほどしかなく、県立芦野公園内にもはい  
っている。学校側では将来は同校の小公園としたいと、なかな  
かの力を入れよう。



【写真一】芦野公園村付き場付近(小田川上流)の藤の溜

## 金木農協

### 五カ年計画で再建 新役員に三上町長ら九氏

金木町農業協同組合(組合長中村健司)では、金木町農協再建委員  
会(委員長三上町長)の勧告にも  
とづいて、去る二十六日には臨時  
総会を青年研修所で開き、定款お  
よび規約の一部改正のほか、再  
建五カ年計画を提案、原案どおり  
可決し、二十七日には役員改選  
を行なった。  
定款および規約の改正によれば、  
①組合の組織は、旧金木町の  
大字川倉を除いたものであった  
のを拡大して、金木町一円とし  
た。②出資一口の金額が五百円一  
口であったものを、五百円一  
口とした。③組合役員は、理事  
員は次の九氏である。  
△理事 三上武男(新)、金木町長 原  
田正一(再)、横引政雄(再)、前田

## 巫女と川倉地蔵尊 NHK テレビで全国に紹介

NHKでは、去る十一月十九日か  
ら三日間にわたって川倉地蔵尊  
とイタコについて、テレビ放送  
のための撮影および録音を行な  
ったが、その放送日程は次のとおり  
十二月八日(土)  
①NHK総合テレビ  
午後八時~八時四十五分 農村  
の慣習  
②教育テレビ  
午後十時~十時三十分 現代の  
記録  
十二月十四日(金)  
③総合テレビ  
午後四時三十分~五時 現代の  
記録

## 人口動態

男女計 8,364人 (昭和37年10月31日現在) 推計人口月報による

区分	金木	嘉瀬	喜良市	計	
人口	8,497	4,509	3,753	16,759	
世帯	1,495	811	584	2,890	
異動	出生	16	11	7	34
	死亡	5	3	0	8
	転入	18	3	3	24
婚姻	転出	47	9	10	66
	結婚	21	9	8	38
離婚	0	1	0	1	

## 人権相談所を常時開設

国民は、すべての基本的人権の享有を妨げられない  
この憲法が国民に保障する基本的人権は、侵すこと  
のできない永久の権利として、現在及び将来の国民  
に与えられる。(憲法第11条)

●私たちの人権は憲法によって保障されています  
しかし私たちの人権は  
暴力におびやかされ、権力にふみにじられがちです。  
封建的因習にしばられて泣かされることあります。  
●このに行けば相談できるか  
●よりの人権擁護委員会をお尋ねください。青森地方  
務局またはその支局を直接お尋ねになっても結構です。  
●人権擁護委員とは  
法務大臣から委嘱された知識の広い、人格の正しく、人々  
で、私たちの人権が侵かされないよう常に監視する役  
目を持っています。  
●もし、人権が侵かされた時は人権擁護委員に  
●相談すれば  
●もめごとの円満な解決をはかり、私たちの人権を守っ  
てくれます。  
●そのとりあつかい  
●事件の申告や相談は、書面でも口頭でもかまいません  
費用は一切かかりません。相談内容はすべて秘密に  
いたします。

当町の人権擁護委員は下記のとおりです。  
委員長 鳴海民之助(嘉瀬)  
委員 笹木正己(金木) 近藤元二(喜良市)  
白川兼五郎(沢部)

## 三万羽の集団養鶏

明年度中に金木農協で  
町当局では、県費補助のある集団  
養鶏地帯の指定を受けるため、さ  
る十一月十日、役員小会議室で協  
議会を開いた。

## 慈善ダンスパーティー

どなたでもご自由においでください  
とき 12月20日(木) 午後6時  
ところ 第一保育所  
金木町第一保育所

## 三万羽の集団養鶏

この日は町内各総合四農協および  
西北養鶏協会の五者と協議し、そ  
の結果昭和三十八年度に金木農協が  
指定を受けることになった。  
この集団養鶏は、三万羽飼育を対  
象にしたもので、これが実現され  
れば農業構造改革事業でとりあげ  
る十五万羽養鶏の基盤がさらに確  
立されることになり、町当局では  
さっそく計画作成にとりかかると  
なった。

